



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



『エンジョイ・ロータリー・ライフ』

～Enjoy Rotary Life～

東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T

『ロータリーの未来は
あなたの手の中に』

～The Future of Rotary is
in Your Hands～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2010年2月1日

No. 23

本日のプログラム

平成22年2月1日
卓話 クラブ協議会

クラブからのお知らせ [1月25日例会]

●会長

本日は杉本博司様に卓話をお願いしております。
日本文化を世界に発信する代表的日本の写真家で、『苔のむすまで』という本が代表作です。
宜しくお願い致します。

●幹事

- 日下部会員 5 FOR 1 の報告。(1月19日開催、7名参加)
- ハイチ地震義援金報告。(集計金額：37,500円)
- 東京マラソン参加者アンケート。
- 国際RC年次大会(カナダモントリオール)のお知らせと参加のお願い。
- 恵比寿RCメーキャップのお誘い。

●ロータリー財団

- ロータリー財団寄付のお願い。(お一人¥10,000)

●バナー交換

- チューリッヒ、ベルボアRCのクオン・ミョンオク様とバナー交換が行われました。





東京六本木ロータリークラブ

T O K Y O
R O P P O N G I
R O T A R Y C L U B

平成21年12月14日

卓話『アメリカという国』

日本プロフェッショナル野球組織 コミッショナー
三菱商事株式会社 取締役

加藤 良三 様

こんにちは。加藤でございます。

私のアメリカについての感想、二つございます。一つはアメリカは神話の故郷のない国であるということ。多くの国は神話の故郷を持っていますが、アメリカはそうではありません。それだけに現在価値で生きる国です。自分たちがいかに立派なことをするかに価値がある。それは現実の問題の解決に向かうエネルギーを意味します。問題解決能力、これがアメリカの特質の一つです。

第二はアメリカは二軸型の国であるということ。日本もヨーロッパの多くの国も一つの権威を頂点として秩序が積み上がることで安心を感じる国ですが、アメリカは中心が二つないと収まらない。政党でいえば共和党と民主党。アメリカほどの多様性を持った国ならイタリア以上の少数、乱立になってもおかしくないのに、なぜか二つに収斂する。逆に言うところと共和党と民主党であらゆる問題について自分たちの立場を打出さなければならぬという無理を背負った国。その中で一番重要と思われる問題で国民の多数が受け入れる政策を出した方が勝ち。だから共和党と民主党は時代の要請によって政策が入れ替わる。神話の故郷を持たないが故に、国民全体を結びつける絆は人権の尊重だという強烈な哲学も生まれてくる。人権への思い入れは、共和、民主の別なく強烈です。アメリカは結局リスクを取る国です。リスクというのは最終的には人命。第一次大戦以降、アメリカほど多くの戦争に関わり続けた国はありません。これはアメリカ流の、こうしなければ問題解決でき

ないと考えた結果だと思えます。

日本にとって隣国外交は大事です。隣国とうまくやれない国は国際的評価が低い。中国、韓国との関係が2国間だけで解決できるというのは幻想です。日本と中国、日本と韓国の問題をマネージしていくには第三国との関係が決定的に重要になります。日本の場合、そういう存在として選んだのがアメリカ。問題解決能力を世界で一番持った国と同盟を組んでいることが日本の外交にどれぐらいプラスに働いたか、冷静な分析が必要です。今、日米同盟が危惧されています。私は鳩山さんが対等性と言っておられるところには慎重な考慮が必要だと思います。アメリカにただノーと言うなら、それは対等じゃありません。アメリカと対等というなら、もう少しリスクを取る覚悟が必要です。

日米同盟は世界の中ではやや異質です。伝統的な同盟は相互防衛が基盤。日本の場合、その部分が曖昧なものですから、政府も民間も、アメリカとの関係で何となく遠慮せざるを得ない。日米関係が普天間の問題ですぐ壊れることはないと思いますが、なんだかんだ言っているうちに、掛け替えのない同盟国から掛け替えのある同盟国に格付けが下がっていたというのでは、日本の痛みは激しい。それが今の日本とアメリカの関係の問題だと思います。ありがとうございました。





「創立五周年記念式典に向けて」

東京六本木ロータリークラブ創立5周年記念式典の日まであとひと月と迫ってきました。

諸準備も最終段階に入っています。私達のクラブにとって大きな意味を持つこの行事が真に有意義なものになるよう、あらためて皆様のご協力をお願いいたします。

記念講演をお願いしている裏千家今日庵大宗匠千玄室氏は、長年にわたりロータリー活動に携わってきておられ、ロータリーの将来について深い思いをお持ちと伺っております。

また国連協会会長をはじめ数々の社会活動を通じてお忙しい毎日から惜しみなく時間を

割いてロータリー活動の基本である奉仕の精神を日々具現しておられます。このようなご経験に基づく千玄室氏のお話を通じ、ここまで順調に発展してきた私たちのクラブが、五周年を機に今後のあり方を考える上で貴重な指針を与えていただけるものと期待しています。

他クラブの皆様にも多数ご参加を頂きたいと思ひますし、メンバーのご家族、友人、知人にも大勢お集まりいただいて、共に和やかに五周年を祝い、楽しい一時を過ごしたいものです。どうぞ宜しくお願いいたします。

五周年記念実行委員長 刈田 吉夫

「東京都立六本木高等学校での地域研究」

東京都立六本木高校において1月14日に講師として山中会長、森ビル株式会社の藤巻様、大和様にご協力いただき、「六本木・麻布・赤坂地区の歴史と発展について」と題した「地域研究」の授業協力を行いましたのでご報告いたします。

去年の経験から、講話の順序だてや、配布資料に工夫をして頂き、生徒に一層興味深く聞いてもらうことができました。

生徒達からは以下のような感想を多数いただき、講師の皆様のおかげで生徒達の視野を拡げることができたという思いと、口伝により伝えるべき地域の歴史があるのだなと実感し、この奉仕事業の継続意義が重要なものであると確信しました。ご協力いただいた全ての方々、どうもありがとうございました。

(生徒からの感想)

- 昔からの伝統や歴史を紡いできた街であり、それに時代の最先端を走っている街。このように2つの顔を持った素晴らしい街で、学習できることは大変誇らしいと思った。この環境を、学習や日常生活・学校生活にいかしていきたいと思う。



- 麻布十番・六本木・赤坂の歴史を少しだけ知ることができました。1945年六本木は空襲によって大半が焼失してしまったのに、今は日本の中心的都市となっているので、人が町を建て直す力はすごいなと思いました。当時努力してくださった方々に、私たちは感謝しなければいけないと思いました。
- 六本木高校に通いだした頃は、通学路で見る一つ一つの風景がとても新鮮でしたが、最近は何も考えずに通り過ぎてしまいがちでした。しかし、今回興味深いお話を聞けたので、これからは何か新しく面白いものを見つけられるように、周りの風景などに目を向けてみようと思いました。

記：新世代委員長 山口 富久



■ ニコニコBOX情報

藤井 卓也さん

永らくご無沙汰いたし申し訳ありません。
これから心を入れ替えます。
ロータリー財団で寄附をよろしく。

森 佳子さん

杉本博司様、本日の卓話を楽しみにしております。
お忙しい中、有難うございます。

岡田 達雄さん

本日、5周年記念事業最後の実行委員会が
開催されました。
会員の皆様、3月1日は宜しくお願い致します。

竹内 和弘さん

杉本先生のお話を楽しみにしております。

山中 祥弘さん

杉本様の卓話、楽しみにしていました。
日本文化を世界へ発信の、お姿に感謝します。

宇佐見 千嘉さん

本日の卓話を楽しみにさせていただいて
おります。

中島 信二さん

本日は、杉本様のお話を楽しみにうかがい
ました。シアター以来のファンです。

安井 悦子さん

杉本博司様、本日の卓話を楽しみにして
おります。よろしくお願い致します。

浅田 豊久さん

日下部さんを囲む5フォー1、工藤さんの肝
入りでたいへん和やかに開催されました事、
感謝申し上げます。

1月25日

合 計	40,000円
累 計	1,585,000円

■ 次回のプログラム

平成22年2月8日

卓話『女優』
女 優

水谷 八重子 様

父は14代目守田勘弥、母は初代 水谷八重子。
1955年、16歳で新派・歌舞伎座で初舞台。
同月、ビクターレコードからジャズ歌手としてデビュー。
以後、映画、テレビなどに多数出演。
舞台では母、八重子の活躍する新派はもとより、東宝のミュージカルなど数多くの作品に出演。
1995年2代目水谷八重子を襲名、新派の大黒柱としての役目も担う。



1月25日の例会出席率（暫定）

例会出席者数	38名
例会出席率	79%
例会参加者数	42名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリークラブ

会長 山中 祥弘 幹事 三田 大介

広報・週報
委員長

片岡 雅敦

広報・週報
副委員長

渡辺 美智子

事務局 〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>